特集

中心市街地の活性化を目指して

～市民主体のまちづくりを推進～

問い合わせ　都市計画課（☎574－6654）

［中央地区（仮称）にぎわい通り将来イメージ］

「にぎわいのあるまち」を再構築

市では、これまで中心市街地を「にぎわいのあるまち」として再構築するため、区画整理事業（ハード面）や商業などの活性化事業（ソフト面）を一体的に推進してきました。産業祭のまちなかでの開催や新たなイベントの実施、「ふっかちゃん横丁」などもオープンし、さらに、七ツ梅酒造跡地の『深谷シネマ』を核とした取り組みも徐々に拡大し、活性化の拠点として注目されています。

また、市では、現在『市民主体のまちづくり』を推進しており、各団体や昨年誕生した、深谷まちづくり市民会議『ぶりっこくらぶ』などを支援し、共に活性化に取り組んでいます。

※自治会、商店会、NPO団体などで組織された任意の市民団体

市では、市民主体のまちづくりを応援しています。市を元気にしたり、何か取り組みたいかた、ぜひ参加しませんか！

【まちづくり推進って？】

Q1　どんな取り組みが行われるの？

▽皆さんがまちづくりに参加するきっかけや場の提供を行います。今年度は講演会（5ページ参照）を実施し、市有地を活用したまちなかのにぎわいづくりに興味のあるかたを募集（5ページ参照）していきます。

Q2　中心市街地を活性化することでどんなメリットがあるの？

▽中心市街地の魅力を高めることは、居住者や集客の増加につながり、事業者の投資が期待され、市の税収の確保にもつながります。

また、なによりも『深谷市の顔』ともいえる中心市街地の活性化は、市全体を元気にし、市民が深谷市に愛着を持ち、地域活力を引き出す効果があると言えます。

Q3　将来はどんな『まち』になっていくの？

▽これからは、市民、行政、関係団体が目標を共有した事業が展開され、まちなかが生活街としてにぎわうことが重要です。さまざまな機会を通し、皆さんと一緒に『まち』の将来を考えていきます。

また、歴史的な街並みと調和のとれた市街地景観の形成に取り組んでいきます。

中心市街地の活性化を目指して
～市民主体のまちづくりを推進～

市民まちづくり講演会

問都市計画課（☎574－6654）

とき　11月30日㈯午後2時～

ところ　七ツ梅酒造跡東蔵ホール

内容　第1部＝基調講演『街のオープンスペースを考える』、第2部＝パネルディスカッション『地域資源の活用について』

講師　基調講演＝村山顕人氏（名古屋大学准教授）

『ぶりっこくらぶ』メンバー募集

問大塚さん（☎090－4371－5260・竹石さん☎090－3912－4968）

市民の皆さんが主体でまちづくりを考える会『深谷まちづくり市民会議ぶりっこくらぶ』では、まちづくりに興味のあるメンバーを募集中です。

▲まちの魅力に触れるツアー！『まち歩き』

まちなかを元気にする企画提案を募集

問都市計画課（☎574－6654）

まちなかにある市有地を、地域の活性化や市民の交流の場として活用を希望するかたから企画提案を募集します。優れた提案者には、市が指定した場所（約700㎡）を貸し出します。

対象　市内に事務所または、活動場所がある市民団体・事業者など

応募要項　問い合わせ先で配布するほか市ホームページからも入手できます。

期　12月24日㈫までに、提案書を作成の上、問い合わせ先へ

事業説明会　11月9日㈯午後2時～・深谷公民館大会議室

▲深谷を愛する人たちが結集！『えん旅』

▲路地裏からにぎわいを！『華の宿場まつり』

▲本と出会える場！『円の庭』七ツ梅酒造跡

FUKAYA BASE
深谷ベース

にぎわいを創出する市民活動スペースがオープン！

10月5日、深谷町（旧中山道沿い群馬銀行深谷支店の西50m）にコンテナをモチーフとした建物群が出現しました。市民の皆さんに貸し出し可能なキッチンラボ（キッチンスペース）、深谷ギャラリー（多目的スペース）、ウッドデッキ＆ガーデンなど、ぜひご利用ください。

問い合わせ　深谷ベース事務所（☎572－8100）

▶キッチンラボには、IHクッキングヒーター付きのミニキッチンを設置。料理教室や飲食イベントに最適です。オープニングイベントでは、地元野菜を使用した料理が振る舞われ大好評でした